

『仙台多文化共生センターだより』

各言語版の「相談員コーナー」の日本語訳を紹介しします。

2022年度Vol.1のテーマ：私を取り組む3R

英語版

(相談員M)

「3R」は環境への負担を減らすための大切な取り組みです。資源の分別が厳しいことは日本に住んでいる外国人をよく悩ませています。リサイクルは日々山ほど重ね分け捨てる紙類とプラ類で、良好な状態で使えそうな家電などの買い取りや寄付などはリユースと言えます。

リユースと言えば、私がここ仙台で好きなことのひとつに、古着屋に行くことがあります。いわゆる学都仙台では学生さんや会社員の入れ替わりが多いため、東京や大阪より安い値段で素敵な服などを手に入れることができるのが仙台の古着屋さんの特徴です。短いサイクルで世界的に大量生産・販売するファッションブランド店で衣類を買うよりもこういった古着屋さんで買い物、買い取りや寄付することは地球にやさしく、最終的に地球を汚染しないようにする良い方法だと思えます。

そのため大量生産・販売するファッションブランド店でも、古着回収ボックスを置き、気軽に衣類のリサイクルができるようになり、企業は回収した衣類を資源とし、新しい布として生まれ変わらせています。このような布のリサイクルへの投資は、企業が消費者の声に耳を傾け、社会的責任を果たし、企業全体にいい影響を与えることが期待されます。

中国語版

(相談員E)

相談員が東京オリンピックメダルについて関心したできごとを対話形式で紹介しします。

環さん 去年日本では夏季東京オリンピックが開催されたね。メダルを獲得した選手たちがたゆまず努力をした結果、キラキラと輝いたメダルが胸に付けている姿は、凄いし、羨ましいよね！

ほう 宝さん そうだね。確か、そのメダルは回収された電気製品でリサイクルされ、つくられたものだよ。

かん 環さん 本当？ あの重そうで、輝いているメダルが？

ほう 宝さん そうなの。メダルを作るために、日本政府が2017年4月から各役所やスーパーに回収ボックスを設置して、使わなくなった携帯電話やデジカメを回収ボックスに入れるよう国民に呼びかけていたんだよ。

かん 環さん それはいい取り組みだね。

ほう 宝さん 携帯電話やデジカメ、パソコンには、金、銀、銅、パラジウムなどの希少金属が含まれていることを知っているよね。回収した小型家電を分解、選別など処理した後、金、銀、銅などの金属を取り出すことができるそうだ。

かん 環さん 約5,000個のメダルは回収した不要な小型家電をリサイクルして作られたのか。天然資源に乏しい日本は、こんなに資源を大切にしている、すごいね。

ほう 宝さん そのとおり。それに、回収後に再加工製造のために特殊な技術を持っていることも必要なんだよ。

かん 環さん なるほど、メダルを見ると精巧に作られた技術の高さがよく分かるね。日本のこのリサイクルへの取り組みは資源を大切にするだけでなく、環境にも優しいし、一石二鳥だね。

ほう 宝さん そうだね、地球の資源は限りがあるので、環境のためにも、私たちが自身のためにも、みんなで資源を大切にしよう。

かんこくごばん  
韓国語版

そうだんいん  
(相談員Y)

みなさんは環境のために3Rに取り組んでいますか？

3Rが大事だと言うことはみなさんご存知かと思いますが、実践するのは意外と難しいです。

面倒くさくて、よく分からなくて、など。。特に母国ではない外国では、3Rについての情報も入手するのがなかなか難しいと思います。

今回は私がいつもしている、簡単な3R方法を紹介します。

捨てるのはもったいない中古服は中古服買取専門店に持って行って売ります。  
 またはリサイクルボックスが置いてあるお店に持って行って寄付します。ここで  
 集まった服は分けられて、服が不足している国や難民に送られたり、燃料や防音材  
 などに加工されます。

そして、洗剤、シャンプーのようなプラスチック容器の製品は詰め替え可能な  
 製品を買って、プラスチックごみを減らします。本体をまた新しく購入するよ  
 り値段も安いのでお得です。

他にもエコバッグの使用、生ごみなど、ごみの量を減らして、捨てるときは  
 分類して排出する、紙の使用を減らして、使った紙は裏紙も再利用する、子ど  
 ものおもちゃ、本など長く使えるものは周りの必要な人に譲るなどがあります。

小さいことかも知れませんが、みんなが実践すると大きい力になります。自分  
 がそれぞれ出来る3R方法を考えてみましょう。

ベトナム語版 (相談員W)

日本に住んでいる方ならきつとごみ置き場にまだ使えそうな家具や電気製品を  
 見かけたことがあるでしょう。私はそれらを見て最初は驚き、「どうして」だ  
 と不思議に思い、とてももったいないと毎回思ってしまいます。ベトナムとは全  
 く違う習慣で、もう何度も何度も修理して使ってもうこれ以上直せないとい  
 う時にならないと絶対に捨てませんし、捨てるのではなくそれらを買取る人に売  
 ります。

私は以前インターネットで無料でそれらをもたらえることを知らなかった頃、  
 いつもリサイクルショップを利用していました。留学生で豊かな生活ができな  
 いのもありましたが、使えるものなら新品か中古品かの問題ではないと考  
 えています。中古品でも大切に使用していけば長く使えますし、その分のごみ  
 量が減らせますし、みなさんも知っている通りそのようなごみを出すのにお金  
 がかかります。

また遠くに引っ越す時に、持って行けない家具や家電製品は、他の留  
 学生にあげたり、近所のリサイクルショップに持っていったりします。

みなさんは何か取り組んでいることはありますか。使っていない古い服とか  
 使用後のペットボトルはどうしていますか。私は自分の服もあまり買うこと  
 なく譲ってもらったものを使うことが多いです。ペットボトルは洗って調味料や

種類入れに使っています。一人ひとりがやることは本当に些細なことだと思いま  
すが、その積み重ねでごみの量が減り環境への負担が少しずつですが減って  
くるとおもいます。

ネパール語版

（相談員B）

世界で、人間の活動によっていろいろな環境問題が発生しています。地球温暖化  
や、ごみ問題、大気汚染に影響を与える環境問題を改善するため、地球の未来  
のためにも、私たちが少しずつできる最初の一步を考えてみましょう！  
私はさまざまな事に取り組んでいます。例えば一つ目は、買い物に行った時  
にはかならずマイバッグを持っていくことです。なぜかと言うとプラスチックの  
廃棄量を減らすため、いらぬビニール袋を家に持ち込まないようにしていま  
す。環境問題にも役立つと思えます。  
二つ目は、料理を作る時にでる野菜の皮やくずを集めてベランダで育てている  
花や野菜に肥料として使っています。  
三つ目は、使えない古い布を小さく切り、ぞうきんの代わりに使ったり、リサ  
イクルショップに持っていったりしています。  
最後は、家で集めた段ボール、新聞、雑誌、古い服、ペットボトル、缶などを  
集めて、月に一回子供会の集団資源回収に持っていったりしています。  
自分にできることをしながら3Rに取り組んでいます。

仙台多文化共生センター

<https://int.sentia-sendai.jp/j/exchange/>